

降雪および低温に対する農作物の管理について


平成30年1月19日
農業技術課

平成30年1月19日11時の気象庁予報部発表の向こう一週間の予報では「期間の始めは、高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。22日は低気圧の影響で雨や雪が降り、その後も寒気の影響で雲が広がりやすいでしょう。」となっています。

県内でも22日に降雪の予報がされています。

また、1月18日には気象庁より関東甲信地方に「低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報」が発表されており、1月23日頃からの約1週間かなりの低温になると予想されています。次の事項を確認し、適切な対策を講じてください。

1月19日11時 山梨県の週間天気予報

日付	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	
山梨県 府県天気予報へ	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々雪か雨 	曇時々晴 	曇時々晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	
降水確率(%)	10/0/0/0	10	80	20	20	10	10	
信頼度	/	/	A	A	A	A	A	
甲府	最高(°C)	11	12 (8~13)	7 (4~9)	8 (5~11)	5 (2~8)	5 (2~7)	6 (4~9)
	最低(°C)	0	0 (-3~1)	-1 (-3~1)	-3 (-5~-1)	-6 (-8~-4)	-10 (-12~-8)	-9 (-11~-7)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
			最低気温		最高気温			
甲府	平年並 1 - 10mm		-2.5 °C		8.4 °C			

降雪対策

果樹

- ・防鳥網が設置してある園では、防鳥網を除去する。
- ・ブドウ、キウイフルーツ、棚栽培のスモモなどでは、粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。
- ・立木類では、積雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。
- ・雪が積もった場合は、棚等の荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪には注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・ハウスでは、降雪中加温が出来るだけの燃料を確保しておく。
- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。

野菜・花き

- ・加温ハウスでは雪が積もる前から暖房機を稼働させるとともに、二重カーテンをあけて融雪に努める。
- ・無加温ハウスでは、簡易ストーブで加温し、融雪させる。また、補助支柱を設置して補強する。
- ・トンネルに積もった雪は早めに除雪し、押しつぶされる等の被害を防ぐ。
- ・トンネル栽培では換気に注意し、トンネル内が加湿状態にならないように管理する。
- ・スイートコーン等のトンネルの準備を行うほ場では、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにする。
- ・未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避ける。

なお、農業技術課HPに降雪対策資料を掲載していますので参考として下さい。

雪害対策HPアドレス

http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/documents/setsugaitaisaku_honnpn.pdf

低温対策

- ・ハウスの点検をこまめに行い、ビニールの破れや開閉部のズレなどがあった場合は、補修し気密性を高め、保温に努める。
- ・暖房機の稼働時間が長くなることを見込まれるため、燃料不足に注意する。